



みなさんの暮らしと
つながっています。

Vol.71

令和5年(2023年)
12月1日発行

はまだ 議会だより





議長 笹田 卓

市民から
信頼され、
必要とされる
議会へ



副議長 川神 裕司

2年間の 振り返りと これから

市民から信頼され、必要とされる議会となるよう、この2年間は委員会活動、広報広聴機能の強化に議会全体で取り組み、議会改革を進めました。

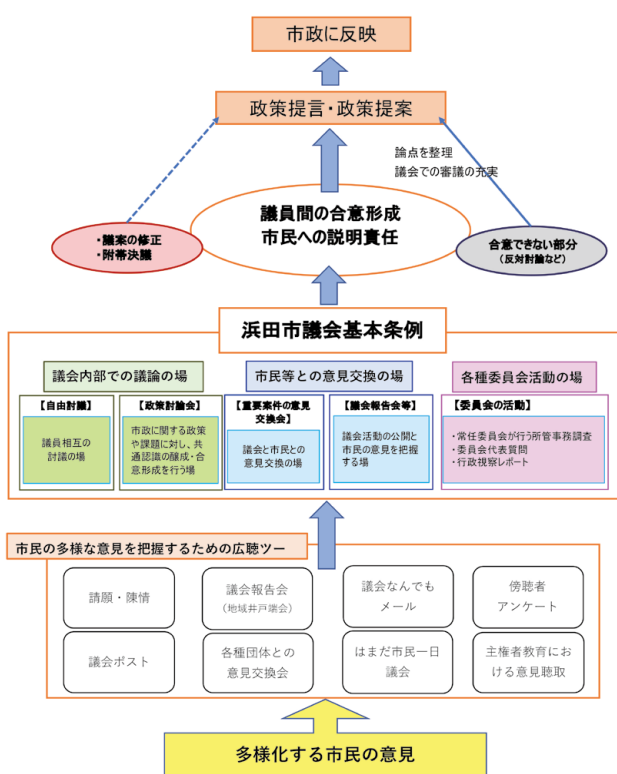
委員会活動の強化としては、3つの常任委員会（総務文教委員会、福祉環境委員会、産業建設委員会）が所管する市の事業や事務について積極的に調査・研究し、現場の声を聴くため、さまざまな関係機関と意見交換を行いました。その結果、3常任委員会から市へ提言や建議を行いました。今後は、それぞれの委員会ですらまとめた提言を「政策討論会」で議論を交わし、議会としての提言になるように努める必要があります。

また、議会基本条例を基軸とした政策形成サイクルのフローチャートを作成しました。市民の皆さんから頂いた意見を基に市政に反映させるものとなっています。今後は、予算編成も考慮したスケジュールも確立させます。広報広聴機能の強化としては、令和5年度は地域井戸端会を市内28カ所と会場数を増やして行い、さまざまな意見を伺うことができました。頂いた意見は議会で協議し、結果や状況を議会のホームページや各まちづくりセンターに掲示し、お返ししたところです。

さまざまな広聴方法で得た意見はどれも重要と考えており、市民の皆さんへの回答を平等に行う仕組みを創り上げることが広報機能の強化につながると考えています。

また、主権者教育の推進の一環として、令和4年度は島根県立大学生との意見交換会「ギカイと語ろう」、大学生を講師とした「SNS講習会」などを行い、大学生の率直な意見を伺うことができました。今後は、さらに議会と島根県立大学との連携を強化すると同時に、主権者教育の推進にも引き続き取り組みます。後半の2年も取り組む事項は多岐にわたりますが、改選後に見直した議会基本条例の運用強化を進めます。議会改革の本質は、議会の体質・風土を変えることだと思います。議会基本条例には、「浜田市議会議員は、石見人としての誇りと高い識見を備え、全国の地方議会の模範となる議会改革を掲げて絶えず精進し、全ての市民が安全で安心して、幸せに暮らすことができるよう最大限の努力をしなければならない」とあります。引き続き、市民から必要とされ信頼されるよう、21人の議員で最大限努力してまいります。

議会基本条例を基軸とした政策形成サイクル フロー図



委員会委員が決定しました



◎は委員長

○は副委員長です



総務文教委員会

まちづくりや教育などに関することを審査・調査します

- | | |
|---------|---------|
| ◎ 芦谷 英夫 | ○ 沖田 真治 |
| 村武 まゆみ | 岡本 正友 |
| 永見 利久 | 西田 清久 |



福祉環境委員会

福祉、医療、水道などに関することを審査・調査します

- | | |
|---------|---------|
| ◎ 三浦 大紀 | ○ 肥後 孝俊 |
| 柳楽 真智子 | 串崎 利行 |
| 上野 茂 | 布施 賢司 |
| 川神 裕司 | |



産業建設委員会

地域産業や道路などに関することを審査・調査します

- | | |
|---------|---------|
| ◎ 川上 幾雄 | ○ 田畑 敬二 |
| 村木 勝也 | 大谷 学 |
| 小川 稔宏 | 佐々木 豊治 |
| 牛尾 昭 | |



議会広報広聴委員会

議会だよりの作成や議会報告会の開催などについて協議します

- | | |
|----------|---------|
| ◎ 村武 まゆみ | ○ 村木 勝也 |
| 肥後 孝俊 | 大谷 学 |
| 三浦 大紀 | 沖田 真治 |
| 川上 幾雄 | 上野 茂 |
| 西田 清久 | 川神 裕司 |



予算決算委員会

新年度予算、決算、補正予算を審査します

- | | |
|---------|---------|
| ◎ 布施 賢司 | ○ 串崎 利行 |
|---------|---------|
- 委員は議長を除く全議員



議会運営委員会

議会日程や議案の取扱いに関する協議、各会派間の連絡調整をします

- | | |
|----------|---------|
| ◎ 柳楽 真智子 | ○ 永見 利久 |
| 肥後 孝俊 | 村木 勝也 |
| 大谷 学 | 三浦 大紀 |
| 村武 まゆみ | 川上 幾雄 |
| 芦谷 英夫 | |



議会改革推進特別委員会

議会改革に関する事項について調査・検討を行います

※会派構成の変更により1人増
新委員：布施 賢司



協働のまちづくり推進特別委員会

協働のまちづくりの推進について調査・研究を行います

※定数などの変更なし



9月定例会議

今回はこれがポイント！

全会一致で認定 令和4年度決算！

9月定例会議では、市長提出議案28件と議会提出議案4件、請願1件について審議しました。

令和5年度一般会計補正予算（第4号）では、原油価格・物価高騰対策事業として、あいのりタクシー等運行支援事業の補助金額および敬老福祉乗車券の購入可能冊数の引上げ、障がい福祉サービス施設や介護施設、老人福祉施設、保育施設、医療機関に対する応援金支給、子育て世帯への給付金支給など25件について審査し、全会一致で可決しました。

9月定例会議は予算決算委員会において前年度の決算審査を行います。令和4年度決算認定として、一般会計、国民健康保険などの特別会計、水道事業などの公営企業会計の決算状況をチェックしました。予算の執行状況や事業の成果について各委員が質疑をし、全会一致で認定しました。予算決算委員会での採決後に全委員で自由討議をし、附帯決議として①人件費および人員配置の適正化について、②的確な目標設定を踏まえた事業推進について、③上下水道事業全般における経営改善についての議会からの要望をまとめました。詳細は6ページをご覧ください。

トピックス

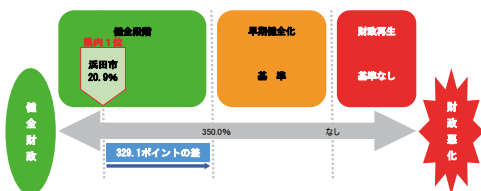
将来負担比率 10年連続改善

9月定例会議では令和4年度一般会計・特別会計、公営企業会計の決算審査を行い、予算決算委員会では121件の質疑の通告がありました。本会議採決では全会一致で認定しました。

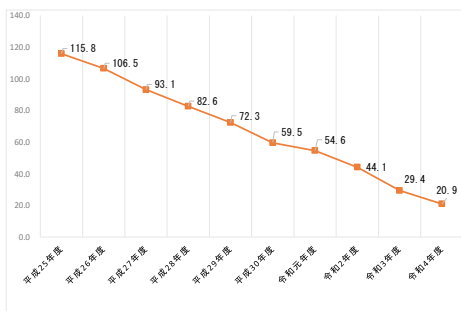
令和4年度の普通会計の決算状況は歳入総額421億383万3千円、歳出総額は407億378万5千円となり、歳入歳出差引は14億4万8千円で、単年度収支は497万6142円で、5年連続の黒字決算となりました。

また、家計でいえば貯金に当たる基金の年度末現在高は172億5663万9千円で前年度に比べ3.3%増加しています。引き続き人口減少などの変化に対応し持続可能な財政運営が期待されます。

将来負担比率の早期健全化基準との比較イメージ



10年間の将来負担比率の推移



問 浜田市の財政状況を教えてください。

答 健全化判断比率および資金不足比率の状況については、実質赤字比率は黒字のため算定はなく、実質公債比率は10.8%で前年度比0.1ポイント低下（改善）。将来負担比率は20.9%で前年度比8.5ポイント低下（改善）しており、国基準から見ても健全段階にありま

問 附帯決議の内容は？

答 決算認定で全て認定した上で、今後の財政運営に対して意見を付ける場合には、予算決算委員会で協議して決めます。令和4年度予算に対して一般会計で人件費および人員配置の適正化、的確な目標設定を踏まえた事業推進、水道事業などの公営企業会計では経営改善を求めまし

トピックス

世界こども美術館 絵画収蔵庫整備へ



浜田市の名誉市民である故橋本明治画伯のご遺族からスケッチブックや絵の具などの絵画創作に使用された貴重な遺品資料を、また同じく名誉市民の故山崎修二画伯のご遺族からは170点にもおよぶ多数の絵画の寄贈をお受けすることになりました。これらの貴重な絵画作品などを劣化させないよう適切に保管収蔵するために、同美術館内の既存の倉庫を改修し、空調を整えた収蔵庫を整備します。

問

収蔵庫をどのように改修しますか？

答

美術館3階の北側部分にある既存の倉庫（幅2・6㍎、奥行き5・2㍎）を改修し、温度が18から23℃、湿度が50から55%の一定の環境が保持できる空調を整備します。

問

整備費はどれくらいになりますか？

答

空調整備や収蔵庫設置に257万8千円、台車やラックなどの備品購入に182万8千円で、合計440万6千円の予算規模です。

問

寄贈された資料を見ることはできますか？

答

受領後に整理し、令和6年度以降に「生誕120周年橋本明治展（仮題）」や「山崎修二画伯企画展（仮題）」を開催することで広く市民に公開していく予定です。

トピックス

旭中学校に 防音対策を

中国山地の山間では米軍機による騒音が長年の問題です。旭中学校での騒音測定の結果、75dB以上の観測頻度が事業採択基準を超えていることから国への補助申請の準備を進めています。

問

どんなスケジュールですか？

答

令和5年度に基本設計、6年度に実施設計、7年度以降に防音対策工事を進める予定です。

問

工事の内容を教えてください。

答

防音サッシへの取り替え、空調機器の更新、天井吸音材仕上げなどの想定です。

問

大掛かりな工事ですが、工事費用は市の負担ですか？

答

事業が採択された場合は、令和5年度の基本設計に係る603万4千円以外は、全額国の負担となります。



議案等の 賛否の公開

9月定例会議および11月の臨時会議で賛否が分かれた議案はありませんでした。各議員の賛否や請願・陳情審査結果、討論などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和5年9月 ●定例会議● 市長提出議案28件 議会提出議案4件
令和5年11月 ●臨時会議● 議会提出議案2件、選任3件

請願・陳情について審査しました 請願1件 陳情5件

請願の内容	提出者	結果
森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書の提出について	一般社団法人 島根県木材協会浜田支部 支部長 浦田 明彦 浜田市黒川町	採択

check! check! check!

令和4年度のお金の使い方

議会が厳しく チェック

9月は決算議会と言われるように、
前年度の決算を審査し、
認定することがメインです。



9月定例会議で令和4年度浜田市一般会計、特別会計、公営企業会計の決算審査を行いました。

決算審査は、予算（前年度の決算審査の内容や附帯決議が生かされ組み立てられた予算案を審査し認めたもの）がどのように執行され、無駄なく有効に政策実現がなされたかを、議員が決算資料を読み込み、質疑・確認・審査し、必要に応じて附帯決議を行います。

図のように、決算審査は、予算審査と連動させ、よりよい政策実現を支えるシステムの役割の一つと言えます。このシステムを生かすため、各議員は質問・質疑を重ねることで審査します。今回は、121の質疑の通告があり、慎重に審査しました。

決算認定議案を全会一致で認定した後、以下の附帯決議を提出しました。

附帯決議（概要を掲載）

●認定第1号 令和4年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について

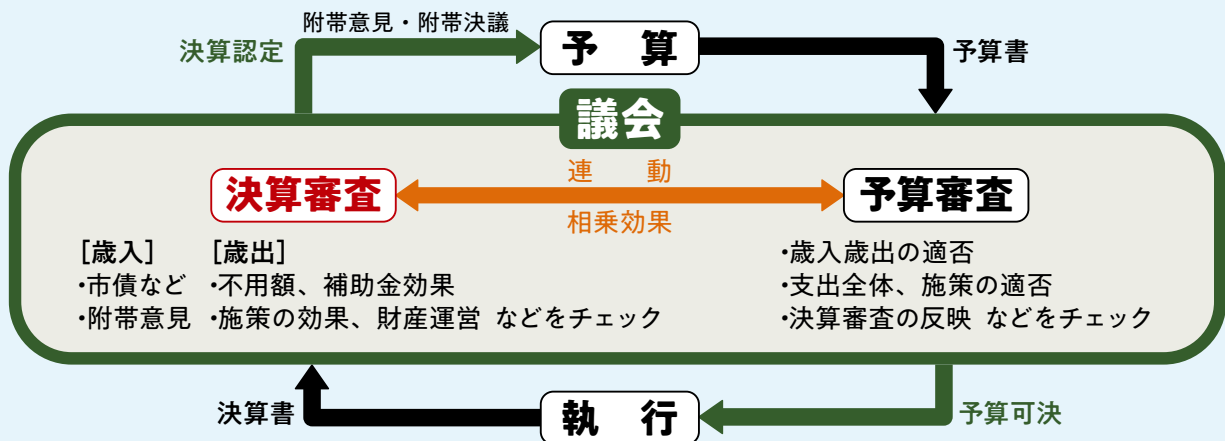
(1) 機能的な組織体制の構築およびデジタル化ならびにAIの活用による業務効率化も推進し、引き続き業務の適正な遂行および人件費の抑制を両立し、人員配置の適正化を

(2) 的確な事業目標を設定し、事業遂行後の検証結果を明らかにし、既存事業に固執することなく、期待する効果を得ることのできる事業実施を

●令和4年度浜田市水道事業会計、工業用水道事業会計、公共下水道事業会計決算認定について

(1) 当該会計の独立採算や受益者負担の原則を踏まえ、適正かつ安定的な事業実施を

予算・決算の流れ



☑ 空き家調査事業

横断的に増加する空き家の対策が図れるか？

問 調査した結果は？

答 令和4年度から3年間かけて調査を行っている。現段階では浜田地域の調査が終了している。空き家動向については、浜田地区で前回、平成26年の調査などでの空き家総数1,351軒、今回調査では1,668軒、危険空き家は前回307軒、今回は246軒となっている。

問 調査結果をどう活用するのか？

答 浜田市が平成29年に空き家等対策計画を策定し空

き家の適正管理における相談体制や解体助成を行うなどしてきたことにより、平成26年比で危険空き家61軒減となり一定の成果があったと認識している。今回調査しデータベース化したことにより、倒壊の恐れだけではなく防犯・防災機能の低下、環境悪化などのリスクに対し、他の部署が多角的な実務が行えると考え。しかし、空き家は増加傾向にあることから所有者が適正管理していかないと危険空き家へつながることを踏まえ、対策に取組んでいく。

☑ 市民と共に学ぶ環境づくり事業

みんなで育む環境意識

問 執行率が78%となったことで事業に影響はなかったのか？

答 執行率が低調な理由の一つに当初は動画配信とケーブルテレビの番組製作を別々に見積もったが、番組製作と動画配信を一括して見積もったところ当初の想定した予算より安くなったこと、事業の効率化を進めて経費が抑えられたことが理由であるが事業に影響はなかったと考えている。

問 ゴミ分別アプリに新たな機能を加えた効果とは？

答 追加機能導入前のアプリ利用件数は約3,700件となっていた。新たにゴミ分別クイズ、スタンプラリーなどの機能を追加。地域脱炭素クイズの配信と環境啓発番組の視聴と連動した企画を行うなどの機能を追加したことにより利用件数が約5,900件に増えた。今後は環境に関する新たな計画策定を考えており計画策定に向け市民、事業所などを対象とした講演会を開催しており、参加者も増加傾向にあることが効果であると考えている。

☑ 浜田医療センター附属看護学校支援事業

人材育成として安定的な事業運営をサポート

問 人材確保とは？

答 入学で言うなら、令和3から5年度が130人中浜田市出身が33名である。卒業後は、令和2から4年度が95人中45名が浜田市に就職した。

問 入学卒業後のために市や学校の魅力を伝えるは？

答 浜田市を愛し、学ぶ場として選ばれるよう努める。

問 補助対象の事業実績は？

答 学校運営全体の支援であるが、学校全体のパソコンの更新ができたと聞いている。

問 浜田市が看護学校にどのように関わっているのか？

答 学生が各支所を介して地域を知るため民泊、探索ツアーなどで補助金以上の関わりを持っている。

☑ BUY浜田推進事業

地域内経済の循環を実感できる仕組みづくり

問 事業の目標を明確にしないと適正な事業の成果が分からないのではないかと？

答 周知を中心にこの事業を進めており、認知度についてアンケートを実施した結果6割程度の市民の方々に認知されていることが成果である。次の展開をどうするかが課題であり、目標設定が必要であると考えて

いる。地域内経済循環の数値などをデータで追っていく手法として地域通貨の導入も方法の一つであろうと考え、講演会も開催し検討している。今後は関係団体も含めて目標値について話し合い、必要に応じて組織を立ち上げるなどして目標値の設定を検討したい。

☑ 安心お産応援事業

安心して妊娠・出産できる環境を！

問 産後ケア事業委託の事業効果は？

答 産後うつ予防の早期発見、早期対応が可能。産後一番の悩みである母乳について、助産師さんの指導が受けられ、お母さんの負担軽減になっている。また、医療機関の助産師と開業医との情報共有が進んでおり、安定的な関わりになっている。

問 産前産後家事支援サポーター派遣事業の課題は？

答 登録は多いものの利用が少ない。他人が家に入ることに抵抗感や逆に気を使うとの声がある。

問 他市からもうらやましがられているこの事業をもっと利用しやすくする必要があるのでは？

答 利用された方からは2時間400円という価格に喜ばれている。利用者の声をホームページなどに掲載しているが、さらに啓発する。

☑ まちづくり総合交付金事業

協働のまちづくりにつながるのか？

問 各地区まちづくり組織や自治会などから提出される会計、事業報告書、事業計画書などを受け取る際に課題と思うことはないか？

答 報告書の文字や数字が読みにくいこと、活動状況を確認できる写真と規定しているが写真撮影の失念から添付されていないことなどがある。交付金の事務説明会などを通じて改善を図るように働き掛けている。

問 交付金の使途への課題とは？

答 コロナ禍により地域活動が思うように行えなかったことから、商品券などの配付に至った団体もあり、事業の目的として課題である。交付金の使途については、さまざまな機会を通じて交流活動や清掃活動などに充当していただくよう働き掛けを行い、有効活用の事例集や情報提供を行い事業の目的を果たしていく。

☑ 若者会議運営事業

若者が住みよい浜田市を目指せ！

問 執行率が低調であるが、当初の成果に影響はなかったのか？

答 当初計画していた若者会議成果発表会は単独開催を予定していたが浜田市協働のまちづくりフォーラムのプログラムの一つとして行ったこと、コロナ禍により視察先が減ったこと、印刷製本費などが計画より安価に抑えられたことなどが理由。成果には大きな影響はなかった。

問 事業の成果は？

答 若者の意見を政策に反映させるということで、若者会議を立ち上げ「若者定住のパイプ役として、中立的な立場で活動を支援する中間支援組織を立ち上げたい」との提案を受け「はまだ協働学舎ファンタス」が今年1月に設立されたことが大きな成果であり、今後、その活動をどのように実際の成果につなげていくかを一緒に考えていきたい。

☑ 合宿等誘致事業

スポーツ施設利用者からニーズの把握も！

問 合宿誘致の中でスポーツ合宿の割合および利用施設は？

答 74団体の合宿利用があり、うち44団体がスポーツ合宿であった。このうち25団体が市内のスポーツ施設を利用した。利用が多い施設としては、サン・ビレッジ浜田が9団体、浜田市陸上競技場、ふれあいジム・かなぎと続く。

問 スポーツ合宿と市内の他の体験などをつなげることはしているのか？

答 窓口は持っていないが利用団体から聞かれたら紹介している。

問 44団体のうち、競技種目の内訳と利用地域は？

答 サッカーが12団体で野球、ゴルフ、バスケットボールなどが多い。県内と広島県からの利用が多い。サッカーにおいては、中国管内である。

問 施設の利用状況に対するアンケート調査は？

答 特にしていない。

問 大きな大会などの試合会場となる施設を利用することに魅力がある。利用者の意見などニーズを把握すべきでは？

答 考えていきたい。

☑ 海のまち・はまだ魅力化プロジェクト事業

渚の交番「Be」海はどう生かされた？

問 当事業における具体的なまちづくりセンターとの連携事業の内容は？

答 浜田、石見、周布、美又まちづくりセンターの4施設で5回の事業を実施した。内容は、親子での海の安全講座、魚釣り、藻塩作り体験などである。美又まちづくりセンターでは、大人が初めて藻塩作りを体験したこともあった。

問 この新規事業における効果は？

答 渚の交番「Be」との本格的な連携ができた。浜田の地域資源である「海」を生かしてふるさとの再発見ができた。

問 関係人口・交流人口の増加につながった事業と効果は？

答 受託者において、7、8月の海水浴シーズンに的を当て、市内・市外・県外者に対してマリンスポーツをメニュー化して体験しやすとした。効果としては、浜田の海を知ってもらい満足されたと思う。今後は、リピーターにも期待したい。

問 体験申し込みは、直接渚の交番「Be」へ行くのか？

答 県外の方などは直接、ネットなどを見て申し込みをしている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。
質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。



市政を問う

17人が
個人一般
質問

こちらから動画をご覧ください。



3 すべての人に
健康と福祉を



すべての人に健康と福祉を

今こそ目指せ！救命先進都市

・地域活性化のためのインバウンド施策の推進について 他

(その他の質問項目)

地域活性化の推進
インバウンド施策の推進
について 他

その他の質問項目

地域活性化の推進

インバウンド施策の推進

について 他

その他の質問項目

地域活性化の推進

インバウンド施策の推進

について 他

その他の質問項目

地域活性化の推進

インバウンド施策の推進

について 他

その他の質問項目

地域活性化の推進

インバウンド施策の推進

について 他

その他の質問項目

地域活性化の推進

インバウンド施策の推進

について 他

その他の質問項目

地域活性化の推進

インバウンド施策の推進

について 他

その他の質問項目



川神 裕司

4 質の高い教育を
みんなに



質の高い教育をみんなに

スポーツの振興で市民の、市の元気をつくれ

考え、高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。

高校や県教育委員会
で考え、高校留学を進める
ことで市に対し協力要請
があれば検討したい。



芦谷 英夫

子どもの能力を育む読書活動の推進を

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。

非常に重要なことなの
で、新たな子ども読書活
動推進計画で周知を図っ
ていきたい。



柳楽 真智子



安全な水とトイレを世界中に

安定した水道事業の経営を

Q 供給単価より給水単価が安価な状態が長く続いている。経営改善が必要。このたびの補正予算案に、物価・燃料高騰の影響下で、価格転嫁が難しい事業者に対する支援事業が盛り込まれているが、水道事業（公営企業）は価格転嫁しにくい最たる事業。当該事業の単独採算の原則から言えば、これに対する支援が必要ではないか。国への働き掛けをすべきだ。

A 料金価格の高騰は公営企業にも大きな影響を与えている。交付金充当は認められているが、生活者の方や事業者の方をこのたびは優先した。水道事業は全国的に厳しい状況である。状況を踏まえて、今後市長会などで議論していきたい。



三浦 大紀



働きがいも経済成長も

都市と農山漁村の交流で地域力の向上を！

Q 「地域おこし協力隊」の増員の考えは？

A 単にマンパワーの充足だけでなく地域力の向上につながるものと考えており、地域からのニーズがあれば積極的に雇用したい。

Q 「浜田市ツーリズム協議会」は過去の経緯から現在民泊45件と都市部からの子どもの受け入れも増えているが、スタッフが不足している。「地域おこし協力隊」による支援の考えはないか？

A 浜田市ツーリズム協議会の意見を伺い、状況を確認し支援の方法を検討したい。

（その他の質問項目）

- ・持続可能な財務体質への転換におけるスクラップ・フォー・ビルドの考え方



西田 清久



住み続けられるまちづくりを

公共施設再配置実施計画の必要性

Q 公共施設再配置実施計画を行う理由は何か？

A 合併に伴い増えた公共施設は人口減少が進む将来、現状をそのまま維持することは厳しい。そこで施設総量の抑制などを目的として計画し、再配置などを進めている。

Q 再配置実施計画の本命は40年間で大幅な公共施設の減少、維持可能な数にすることである。見直しに着手せず安易に先送りすることは、将来世代へのツケを回すことであると市長が策定公表されたものであるがどうか？

A いろいろ検討した結果このような方針を打ち出し現時点でも基本的にはこのような考えでいる。多様な条件変化によって改めて検討する必要もあると考えている。



川上 幾雄

相続土地の登記の義務化の対応策は？

Q これまで任意であった相続登記が義務化されるなど不動産登記や土地建物利用に関する法律の見直しが図られるが、所有者不明土地の実態と相続の現状は。

A 相続人不存在により納税義務者がいない土地家屋が993件。相続登記されないままの土地家屋が納税義務者全体の22%で、9,314人。

Q 相続があった場合3年以内に相続登記、名義変更は2年以内の名義変更登記が義務化される。急ったときは最大10万円以下の過料が課せられることから申請増加を予想する。市民目線に立った相談窓口の充実を求める。

A 自分で登記を行う場合を含め情報提供や窓口相談など図っていきたい。



岡本 正友

住み続けられるまちづくりを

公園の「敷地内案内図」掲載で利便性を

- Q** 駐車場・水洗トイレ・子ども向け遊具・ボール遊びが可能な広さなど設備が整った公園は？
- A** ゆうひ公園、石見海浜公園など8カ所。9月には三隅火力発電所内にも新設され開放された。
- Q** 「はまだ子育てアプリすくすく」を見ると駐車場の有無などの基本情報と一部の写真のみで公園の全体像が見えない。イラスト風「敷地全体案内図」を掲載し、現地に行かなくてもイメージできるような利便性の向上を。
- A** 提案の通り全容が分かるように掲載したい。
- Q** 市のホームページ上の情報検索では推奨される公園が出てこない。機能の改良が必要と思うが？
- A** 当然市民の利便性が良くなるように進めたい。



大谷 学

奨学金返済に苦しむ若者への支援を

- Q** 奨学金返済が苦しく負担が重いとする若者が増えており、負担軽減の取組として自治体や企業が返済を「肩代わり」する制度が国の支援で実施されている。「一定の期間定住し、就職する」などの独自の要件を満たすのが条件で、すでに全国615の市町村が導入している。若者の定着も促す本制度を浜田市でも実施すべきではないか。
- A** 浜田市では貸与型や返済不要のものなど独自の奨学金制度にも取組んでいる。また、県の返済支援制度もあるので、整理しながら今後研究する。
- (その他の質問項目)
- ・物価高騰への生活支援
 - ・水道料金と学校給食費の減免
 - ・選挙投票支援の取組



佐々木 豊治

新船建造で水産業振興はどうなる？

- Q** 令和5年春以降の外来船誘致ポートセールスは目を見張るものがある。伸びた理由は？
- A** 2年前に巻き網事故で1力統を失い大幅に水揚げが減少した。その穴を埋めるため、外来船誘致で各地を歩いている。
- Q** 益明けで底びき網船団は、歴史的な水揚げを記録した。新船建造の効果などをどう見るか？
- A** コロナも収まり新船効果も相まって漁業関係者が盛り上がっている。ふるさと納税の7割は水産品であり、市民サービスの財源となっている。引き続き地元船の支援を行いたい。
- Q** 外来船誘致に冷凍庫の増設が必要と思うが？
- A** JFしまねと一緒に検討していきたい。



牛尾 昭

避難所の状況や備蓄品管理をシステムで

- Q** 被災地での生活必需品などの需要の把握は？
- A** 避難所において配置職員が窓口となり、必要な物資や人員を災害対策本部に報告する。
- Q** 避難所からの報告では数字の聞き間違い、書き間違い、メモの紛失、在庫不足、さらには、報告が一斉になる可能性がある。備蓄品の管理から、避難者の状況及び必要物資の要求をシステムで管理してはどうか？
- A** 備蓄品の管理はエクセルで足りており、避難所からの連絡は口頭で足りているため、導入は検討していない。
- (その他の質問項目)
- ・市内避難所への物資輸送計画の策定
 - ・AEDの設置に係る助成制度の創設



村木 勝也

住み続けられるまちづくりを

新規消防団員獲得を！



肥後 孝俊

Q 今後の消防団員の適正数確保と質の維持に向けた施策とは？

A 市内で開催されるイベントにおいて団員募集活動を実施している。県立大学では学生消防団員の募集、実業高校では消防団説明会を開催し学生消防団の加入促進について研究している。質の維持向上は、火災防御訓練、ポンプ中継訓練、応急手当講習、チェンソー取扱研修、新入団員研修を実施している。

Q さまざまな媒体での募集活動をしてみても？

A ケーブルテレビへの出演や浜田市ホームページへ活動の様子を掲載し発信していきたい。

(その他の質問項目)

・ふるさと体験村の利用状況

総合防災訓練は 地域の実情に合ったテーマで



永見 利久

Q 総合防災訓練は、水害・土砂災害のテーマで行われた。浜田は海岸地域・中山間地域もあり実情に合った訓練を行うべきと思うが考えは？

A 過去に大きな被害のあった水害・土砂災害を想定して総合防災訓練を行っている。令和3年から津波避難訓練も実施している。次年度は、各地域団体などの実情に合わせて複数のメニューで訓練を実施する。

Q 市街地が津波で被災した場合、社会インフラや物流が停止して周辺地域にも被害が生じる。これをどう想定して訓練に生かすのか？

A 次年度の災害対策本部訓練においてはこうした状況も想定に加え、練度向上を図っていく。

地域課題と向き合えるまちづくりを



沖田 真治

Q まちづくり総合交付金制度は各地域の特色あるまちづくりにおいて必要不可欠である。今後も継続していくべきだが、どう考えているか？

A 各地域のまちづくり活動を行っていく上で貴重な財源であると認識している。制度の継続は必要であると考えており、引き続き有効な制度となるよう取組を進めていく。

Q 制度の中の課題解決事業の利用は地域によって差があるが、各地区の活動状況を把握し必要に応じた支援が必要では？

A 地区まちづくり推進委員会に対しアンケート調査を実施。毎年度、まちづくり連絡協議会を開催し事業を活用するための提案や必要に応じた支援を行っている。

市民みんなで盛り上げる花火大会の実現を！



小川 稔宏

Q 石州浜っ子夏まつりでの花火打ち上げ数や屋台出店の規模と周知方法などはどうであったか。

A 協賛金が減り、花火代が1.5倍になる中、打ち上げ数にこだわらずお客様に喜んでもらえる演出に変更し、球数の公表は控えた。駐車場、出店スペース確保や予算も厳しく出店者募集を見送った。広報の反省点はある。

Q 制約がある中、実行委員会・関係者のご尽力に感謝する。今後花火会場の見直しはあるのか。

A 以前と同様の開催は厳しいが費用など総合的に考え、現在の浜田漁港エリアが望ましいとの結論になっている。実行委員会で反省会を行い、次年度以降も持続可能な祭りとなるよう検討する。



つくる責任 つかう責任

再開・ふるさと体験村！

Q ふるさと体験村は地元の皆さんの大変な尽力によって再開された。今回の再開はといえば新規事業の立ち上げであり、いきなり全ての事業において結果を求めるのは難しいと考える。基盤が確立するまで少し長い目で見ることがあると感じるが市の考えは？

A 宿泊事業、体験交流事業、飲食事業、物販事業の四つの事業を並行し安定的に稼働させるには、少し時間が必要。指定管理者は経営会議を中心に鋭意努力を続けておられ、引き続きこの3年間で持続的経営ができるよう、しっかりと取り組んでいただきたいと考えている。そのためにも最大限の支援を行いたいと考えている。



申崎 利行



平和と公正をすべての人に

浜田で生まれ育つ子どもの心と命を守る

Q 近年の児童相談、児童虐待相談件数は？

A 令和4年度は相談件数59件、児童虐待が19件。

Q 子どもたちを守るために地域の見守りや居場所子どもたちが相談しやすい場づくり、意識高揚の啓発などが大切では？

A 大切であると考えてるので、地域での見守りや場を増やしていきたい。

Q 自らSOSを出すことができるプログラムを市内全ての子どもたちが受けることができるようにならないか？

A 現在は考えていない。市民活動への助成金などで活動を応援したい。

(その他の質問項目)

- ・ 異常な猛暑の中での小中学校特別教室のエアコン設置の必要性
- ・ 小学生の登下校



村武 まゆみ

発言者の思いを 受け取りました!!



10月22日に第3回はまだ市民一日議会を開催しました。

このたびも10代から70代まで幅広い年代の方々がご参加くださり、日々の暮らしの中にある視点をさまざまな角度で伺うことができました。頂いたご意見は全議員で取り扱いを協議し対応します。今後も積極的な広聴活動に努めてまいります。

発表者の方々、傍聴者の方々、ご参加ありがとうございました。

当日の様子はYouTubeでもご覧いただけます。



委員会

代表質問

【委員会代表質問とは】

浜田市議会において令和4年6月から導入しました。個人一般質問と違い、委員会を代表する議員が委員会の総意として質問します。3常任委員会の専門性を生かし、委員会の行政視察や調査・研究を踏まえた、多角的な視点からの質問ができます。より厚みのある政策提案につながることに期待しています。

官民連携で包括的・重層的な相談支援体制を

柳楽 真智子

福祉環境委員会



実践地の豊田市への視察

Q 誰一人取り残さないための重層的な支援体制を今後どのように進めるか。
A 相談支援機関が専門性を生かしながら相談や支援を行っているが、包括的な支援のネットワーク整備には至っていない。課題を抱える人と地域や専門機関を結び付けるネットワークづくりの実現に取り組む。
Q 庁内の連携体制が重要だと考えるが、浜田市の現状は。
A ケース検討会に関係部署の担当者が参加し、情報共有しながら支援の検討を行っている。
Q 職員によるワーキンググループを立ち上げ、連携体制を構築する考えはないか。

A 庁内の関係部署ではすでに連携体制を整えている。関係部署以外とも情報共有や支援を円滑に行う体制の整備が必要。
Q 支援ネットワークづくりのための地域資源の活用や掘り起しにどう取り組むのか。
A 団体や個人の掘り起こしが重要である。地区社会福祉協議会や浜田市社会福祉協議会と連携して取り組んでいきたい。
Q 国の無料職業紹介所に登録し、相談に対応している自治体がある。浜田市での導入は。
A 以前、産業経済部で開設していたが、利用者が少なく業務を終了した。
Q 生活困窮者自立支援制度の体制は。
A 平成27年4月の事業開始当初から、浜田市社会福祉協議会に委託し、5名体制で行っている。
Q 相談が複雑化しているが、現状の人員体制で十分なのか。
A 令和4年度に1人増員している。

今こそ中小商工業者に寄り添った支援策を！

布施 賢司

産業建設委員会



関係団体との意見交換会

Q ポスト・コロナ時代へ向けて当委員会では、商工業・観光業の関係者との意見交換を行った。
 商工業関係では、「ゼロゼ口融資」の返済開始に伴う負担の声を聞くが、市独自の新たな融資策や支援策の考えはないのか。
A 国や県において新たな借換保証制度の創設や据置期間の延長に伴い、追加が必要となる利息と保証料を補助する制度が創設された。制度の周知を図り、状況を把握し必要な支援を検討する。
Q 市民や企業に好評なプレミアム付はまだ応援チケット第4弾の考えは？
A 今のところ予定はないが、国からの交付金が支給されれば検討したい。

Q 地域活性化のためにもデジタル地域通貨を導入するべきだ。
A 導入可能性の検討を始めているが、一定の経済規模（3千億円以上）が必要で、本市の経済規模（約2,200億円程度）を考えると導入は難しい。
Q 移動販売と介護弁当などをセットにした複合的なサービスの提供ができるよう、制度設計の見直しをする考えは？
A 既存のサービスを活用した複合的な事業構築は必要な視点であり、支援の方法を研究する。
Q 石見神楽振興について「観光コンテンツ造成支援事業」の概要は？
A インバウンドの地方誘客や観光消費の拡大を促進する支援で、総事業費800万円、国の補助額は600万円である。
Q 観光資源を若い世代へアピールする取組は？
A 観光協会を中心に強化を図り、動画作成による魅力発信とSNSでの発信に力を入れていく。

レポート



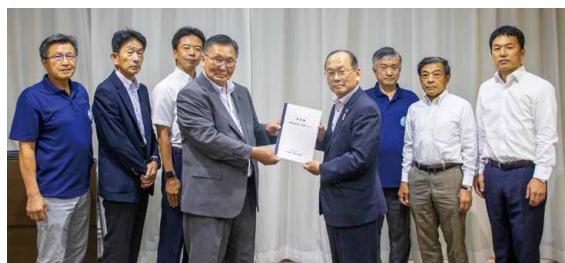
総務文教委員会

2件の提言書

当委員会で調査研究した取組課題について、2年間の活動を振り返ります。

まず、「多様性社会の推進について」を取組課題とし、浜田市人権を尊重するまちづくり条例に対する提言内容を委員間で協議し、現在の社会的背景の記載について具体的な事例や浜田らしさの表現方法などを盛り込み、令和4年11月に市長へ提出しました。

続いて、「不登校児童生徒への支援について」を取組課題としました。浜田市でも不登校児童生徒数は近年増加傾向にあり、支援センターの山びこ学級を利用している児童は全体の1割という現状を踏まえ必要な支援や新たな居場所を提供できる選択肢について、先進地視察や12回にわたる議論により作成した提言書を令和5年9月に市長、教育長に委員全員で提出しました。



福祉環境委員会

福祉のまち浜田への提言

当委員会では「誰もが働ける場所の創設」をコンセプトに、勉強会や委員間での自由討議を重ねてきました。教育機関・就労支援機関・企業そして障がい者の方々の協力を得て、現状把握や政策提言に向けた意見交換会、さらには豊田市、座間市への先進地視察など40回を超える調査研究を行いました。

障がい者支援の提言を仕上げる中で、障がい者に限らず誰一人取り残さない支援体制の充実が必要であると考え、「重層的支援体制整備事業の取組」についても提言としてまとめました。

福祉のまち浜田を目指すために浜田市と市議会が一緒に取組むべき課題として「就労支援を含めた障がい者支援」と「重層的支援体制整備事業の取組」の二つの提言書を令和5年10月に市長に提出しました。

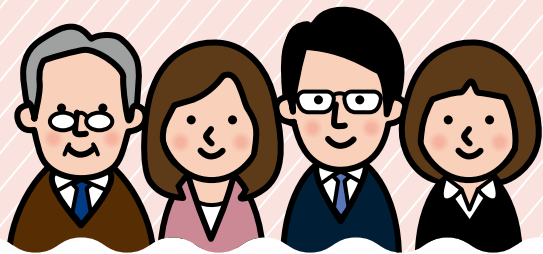


産業建設委員会

問題解決にプロジェクトチーム創設を！

当委員会は、市内の産業関係者との意見交換会を踏まえた2年間の活動成果として、「問題点・課題の解決には関係者との協働を、また、縦割りを排除し横断的なプロジェクトチームを創り当たってほしい」と市長へ建議書（意見）を提出しました。このことは、執行部が関連部署との連携で問題点・課題の解決に当たられていることは理解するものの、動きが見えにくく縦割りの弊害もあるのではないかと受け止めによるものです。次期2年間においては、建議がどのように反映されるかを追ってまいります。





委員会活動

議会広報広聴委員会

議会をより身近に

この2年間、「議会をより身近に」をスローガンに、広報・広聴活動を実践してきました。コロナ禍は地域協議会との意見交換会によって広聴活動を担保しながら、今年の5月に議会報告会をようやく再開。全まちづくりセンターをはじめとする28カ所での開催は、これまでで最高の参加者を数えました。また、はまだ市民一日議会は、2021年マニフェスト大賞で優秀躍進賞を受賞以来、今年3回目を開催。毎回、定員を超える応募をいただく人気イベントに定着しつつあります。頂いたご意見は、議会の所管委員会などに割り振って協議し、回答しています。このスタイルは恒常化しましたが、まだまだ課題も多くあります。皆さんと議会との双方向の関係構築がこの委員会のミッション。議会だよりやホームページを通じて、ぜひ今後の議会活動にご注目ください。

議会運営委員会

各種規則を改正

市民に開かれた議会を目指し、傍聴しやすい環境の整備とより分かりやすい表現への変更を目的に浜田市議会傍聴規則と委員会傍聴規程の一部を改正しました。小学生以下の子どもが傍聴席に入る際に議長の許可を得るルールを廃止して、子育て中の方々が子どもを連れて気軽に傍聴できるようにし、服装などについての規制を緩和しました。また地方自治法が一部改正され、議員の請負に関する規制の緩和等がなされたことに伴い、9月定例会議において、浜田市議会議員政治倫理条例の一部改正に併わせ、議員個人が浜田市に対して請負をする場合に、請負の状況を公表することにより、請負状況の透明性を確保し、議会運営の公正及び事務執行の適正を図ることを目的とした議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について当委員会から提案しました。

議会改革推進特別委員会

着実に進めてきた議会改革

当委員会では議会改革に関する項目について協議を重ね、この2年間には委員会代表質問の導入、議会BCPの策定、議員選出監査委員との情報共有などを実施してきました。

議会におけるICTの活用と推進では、津山市への視察をきっかけとして議員と事務局の連絡手段など、業務の効率化と利便性を図るために「LINE WORKS」の活用を検討し、令和5年11月から本格導入しています。なお、電子採決システムの導入については、現状では財政的效果および効率性は薄いものの、利点もあるため、議場のマイク設備更新の際に検討することとしています。

また、政務活動費に関して透明性を確保した上で有効活用ができるよう、見直しの検討も継続中です。

今後も議会改革の推進に取り組んでまいります。

協働のまちづくり推進特別委員会

提言へ向け自由討議を重ねる

当委員会は令和4年3月17日に設置され、これまで20回の委員会を開催するとともに、各まちづくりセンターへの意見聴取や、まちづくりコーディネーターおよび市担当課との意見交換会、先進地への行政視察、識見者に講師を依頼した勉強会などを行ってきました。

これまでの取組を総括し、市への提言に向け、委員間での自由討議を活発に行っています。協働のまちづくりを推進するために、まちづくり推進委員会、町内会、まちづくりセンター、まちづくりコーディネーターなどがどのような姿となれば良いか模索しながら提言内容を協議しています。

また、当委員会内だけでの議論ではなく、全議員での共通認識とするべく、政策討論会へ向けた議題提案も視野に入れ進めています。

▶ご意見

「浜田の文化財」という本を新しく作り直して販売してほしいです。

▶対応経過及び結果

現在、浜田市内の文化財は市のホームページに掲載し、随時内容を更新しています。当該冊子は合併前に旧浜田市で発行されたものであること、また、冊子にまとめることのメリット等も踏まえて、新しく作成することの必要性について検討します。（総務文教委員会）



▶ご意見

小学生の子どもを持つ者です。小学校の統廃合は、もう少し進んでも良い気がします。自分が大人数の学校で当たり前に育ったためか、クラスが10人に満たないなど、複式学級の良さがあまり良く分かりません。子どものうちに、集団の中での生活をもっと学ばせたいものです。

▶対応経過及び結果

ご意見を踏まえ、引き続き適切な教育環境の在り方について検討します。

（総務文教委員会）

▶ご意見

議員は大変です。報酬アップしてあげてください。

▶対応経過及び結果

労いのお言葉をありがとうございます。浜田市議会基本条例第24条に「議員報酬の改正に当たっては、行財政改革の視点のほか、市政の現状及び問題、将来の予測及び展望等を考慮するものとする。」と定め、このような視点を持って検討することとしております。また、市長の諮問機関である「浜田市特別職報酬等審議会」において審議することとなっています。（議会運営委員会）

各まちづくりセンターに、意見・ご要望用紙を「ぎかいポスト」とともに設置しておりますのでご投函ください。ウェブからも受け付けております。



12月
定例会議の
予定

- ・12月1日(金) 開会
 - ・12月4日(月)～7日(木) 一般質問
- ぜひ傍聴にお越しください。
※変更になる場合があります。

次回（Vol.72）は2月1日発行予定です。

はまだ議会だより
miniも
見てね



11月1日の25号はご覧いただけましたでしょうか。miniは浜田市議会のホームページにウェブ版として掲載していますのでぜひご覧ください。次号は1月1日に発行予定です。

編集委員

委員長
副委員長
委員

川上 小川 沖大 村肥 村三
神野 川上 田谷 木後 武浦
裕 稔 幾真 勝孝 孝大
司 茂 宏 雄 治 学 也 俊 み 紀

表紙について

こども美術館で年明けから始まる恒例のアンデパンダン展。世界各国から子どもたちの作品が届いています。今回は特別に先取り。フランス児童の切り絵、「トロイの木馬」です。どの作品からも創作のワクワク感が伝わってくる楽しい展覧会です。ぜひ、お出掛けください。

（記 川神 裕司）

本委員会も市議会の活動を分りやすく皆さんに伝える紙面づくりを通じて、議会をより身近に感じてもらえるよう努力してきましたつもりです。今回の発行は新委員の委員会で発行します。ご期待ください。

あとがき